

西田幾多郎博士作品を吟ずる 第12回『全国吟詠大会』

開催要項

平成26年5月吉日

1. 日時 平成26年9月7日(日) 9時・開場 9時30分・開演
2. 場所 石川県西田幾多郎記念哲学館 哲学ホール
3. 目的 世界的哲学者西田幾多郎博士の生誕の地かほく市において、博士の遺した漢詩・短歌を広く紹介することにより博士を頌徳するとともに、地域文化の振興を図るものとする。
4. 定員 160名
5. 参加資格 吟詠愛好者は自由に参加できます(但し中学生以下を除く)。
6. 吟題 指定吟題より1題を選んで吟ずること(符付けは自由)。
指定吟題は別紙一覧を参照下さい。
なお、吟詠時間は1人2分以内とします。

7. 参加出吟料

3,000円(昼食代含む)

出吟料はお申込と同時に哲学館へ直接お支払いいただくか、
下記の口座へ納入下さい。

[郵便振替口座00740-6-74059]石川県西田幾多郎記念哲学館

※出吟料の入金が確認された時点で、申込を正式に受付といたします。

※出吟のキャンセルがあっても、納入いただいた出吟料はお返しできません。

8. 申込方法 別紙の申込用紙にて下記までお申し込み下さい。

石川県西田幾多郎記念哲学館
〒929-1126 石川県かほく市内日角井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320

9. 申込締切

平成26年6月29日(日)

※締切日前でも定員に達した場合は申込受付を終了いたします。

10. その他

◇伴奏 尺八伴奏とします。

◇審査員 権威ある邦楽関係者に委嘱します。

◇賞

最優秀賞 石川県知事賞(トロフィーは持ち回り)

特別優秀賞 西田幾多郎博士頌徳会長賞

特別優秀賞 北國新聞社長賞

特別優秀賞 石川県吟剣詩舞道総連盟賞

特別優秀賞 石川県西田幾多郎記念哲学館長賞

優秀賞 (5名)

入賞 (35名) (予定)

高齢者賞 (80歳以上の方に賞状・記念品を差し上げます)

主催 西田幾多郎博士頌徳会

共催 北國新聞社・石川県吟剣詩舞道総連盟・かほく市教育委員会

後援 石川県・かほく市文化協会・かほく市商工会・

財団法人石川県芸術文化協会・NHK金沢放送局・テレビ金沢(予定)

西田幾多郎博士作品を吟ずる

全国吟詠大会 指定吟題

① 秋家読書

独り坐せば寥々として『秋氣涼し』
頭を案じ『巻を披けば感万長』
隙風来り襲えば『燈火乱れ』
明月『輝々として草堂を照す』

⑥ 湘南落日

青山『海に連なつて尽く 湖水』天に接して流る』
落日『煙雲の外 只』富岳の浮ぶを看る』

② 秋郊聞笛

秋郊の風景は『眸裏に満ち』
寂寞『遙に聞く玉笛の声』
左 憶今宵『感慨多し』
笛声は『故郷の情を思うに中る』

⑦ 白砂青松

白砂青松
砂白く『松青々 海青く』波白々』
古城『山下の路 日々』往来となす』

③ 春園歩月

地上皓々として『霜踏むの如し』
夜深まりて『清く仙郷に遊ぶに似たり』
好哉春月『園を歩むの景』
一苑『東風に万樹香わし』

⑨ 愛宕山

愛宕山『入る日の如くあかあかと』
燃し尽くさん残れる命』(くりかえし)

④ 秋夜故郷を思う

夜風は『颯々として涼し』
明月の『白きこと霜の如し』
仰首『山月を望めば』
額を『ひくくして故郷を思う』

⑩ 吾死なば

吾死なば『故郷の山に埋れて』
昔語りし友を夢みむ』(くりかえし)

⑤ 無題

歲月『流水の如く』
又『春色新たなるに逢う』
寒梅『伴侶となす』
天地『一問人』

⑫ 故里の

故里の『小川にあそぶわらべらの』
ぬなかことほもなつかしみ聞く』(くりかえし)

⑬ わが心

わが心『深き底あり 喜も』
憂の波もどどかじと思う』(くりかえし)